

発行：(一社)SVI推進協議会 【事務局：糸島市 学研都市づくり課】

TEL：092-332-2079 MAIL：gakkentoshi@city.itoshima.lg.jp

10月11日に開催した当協議会令和6年度第3回理事会において、下記の4社の当協議会への入社が承認されました。これから、13社員でSVIの実現を目指していきます。今号では、新たな仲間をご紹介します！

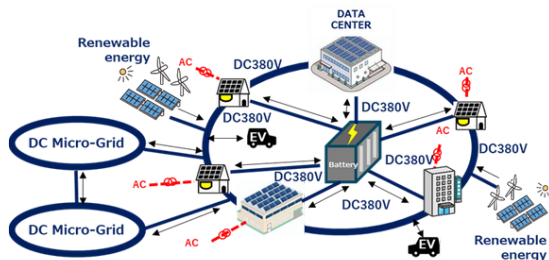
①所在地 ②事業内容 ③SVIで取組みたいこと

ディーレックス株式会社

- ①神奈川県横浜市
- ②直流給電に関する機器等の開発、設計、製造及び輸出入等
- ③本年3月に直流マイクログリッドの社会実装を目的に設立しました。

「新しい豊かなまち」の在り方のひとつとして「再生可能エネルギーを効率良く、経済的、安全に利用できる直流モデル」の有効性を確認、発信することで、地方創生課題の解決に貢献したいと思います。

DC Micro-Grid



KDDI株式会社

- ①東京都千代田区
- ②移動通信事業、固定通信事業、インターネット関連事業等
- ③KDDIでは、未来の取り組みとして地域共創事業を推進しています。このたびSVIに加入するにあたり、産官学連携の一員として、当社のアセット提供だけでなく、未来の地域を支える人財の育成やAIの活用を積極的に行って参ります。また、スタートアップを始めとするパートナーとの連携のハブとなり、多様な関係者との共創活動を通じて、サステナブルな未来の街づくりに貢献したいと考えています。



GLEAP株式会社



GLEAPが掲げる5つの目標

- ①福岡県福岡市
- ②AIソフトウェア・アプリケーション開発、IT教育事業等
- ③GLEAPでは、AI技術を活用したソリューション開発とIT人材育成の経験を生かし、SVIにおけるAI導入や活用方法の提案、さらには地域の方々をIT人材として育成することで、地域のまちづくりやテクノロジー分野の発展に貢献したいと考えています。また、九州大学発のベンチャー企業として学生との連携を深め、学生にとって「住みやすく」「居心地の良い」まちとは何かを共に考え、実現に向けて取り組んでいきます。

新規社員 紹介

特集

株式会社奥村組



- ①大阪府大阪市
- ②総合建設業
- ③歴史があり、自然豊かな糸島市において、奥村組では、生成AIを積極的に活用しつつ、地域住民や九州大学、地元企業の皆さまとの交流・連携を深めることでイノベーションを創出し、「住み続けたいくなるまちづくり」に貢献したいと考えています。また、脱炭素社会の実現や食料自給率の向上などに繋がる取り組みも推進し、「持続可能なまち」を目指していきます。

当協議会副代表理事に 九州大学谷本潤理事・副学長が就任

10月11日に開催した臨時社員総会で、9月に退任となっていた福田晋副代表理事（九州大学名誉教授）の後任として、谷本潤九州大学理事・副学長の就任が承認されました。

9月まで九州大学大学院総合理工学研究院長を務めていた谷本氏は、10月からは理事・副学長として学内の研究・産学官連携、キャンパス整備を担当しています。

11月にはSVIはじまりの地（志摩馬場）を訪問し、平野理事と生成AIを活用したまちづくりについての意見交換をした後、村理事が直流事業の一環で取組んでいるエネルギーポール実証実験の設備を視察しました。



曲がる太陽光パネルを手にも、村理事からエネルギーポール実証実験の説明を受ける谷本副代表理事（写真中央）

～企業等からSVIとの連携希望があった場合の窓口について～

11月29日に開催した令和6年度第4回理事会及び臨時社員総会において、イトシマ株式会社との業務委託契約の締結が承認されました。契約締結承認に伴い、SVIへの企業誘致業務についてはイトシマ(株)に委託します。

このことに伴い、今後企業等のみなさまからSVIとの連携希望があった場合の窓口を整理しましたのでお知らせします。

連携の種類

窓口

備考

SVIへの立地希望
がある場合

イトシマ株式会社
【TEL：050-5810-9193
MAIL：contact@itoshima.co】

糸島市学研都市づくり課にも
同報をお願いします。
【TEL：092-332-2079
MAIL：svi@city.itoshima.lg.jp】

SVIでの実証実験希望
がある場合

SVI推進協議会
(事務局：糸島市学研都市づくり課)
【TEL：092-332-2079
MAIL：svi@city.itoshima.lg.jp】

SVI実現のため糸島市への
企業版ふるさと納税を
検討されている場合

糸島市学研都市づくり課
【TEL：092-332-2079
MAIL：svi@city.itoshima.lg.jp】

「興味がある、話を聞いてみたい」
程度でも構いません。
ご連絡をお待ちしています！

